

樹皮がうすくはかばる
成長すると灰色の



ウレシク

白い斑点がある
樹皮は平滑で



アオダマ

カラマツ

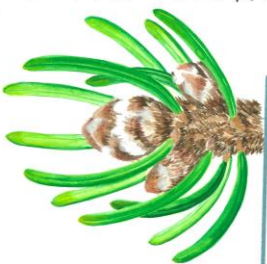


葉を落とす
樹皮は
せんと
みにつく
短枝

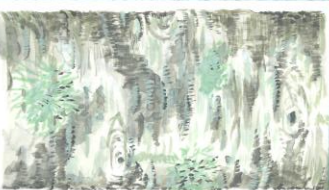


かさかさとした肌い樹皮

アカエゾマツ

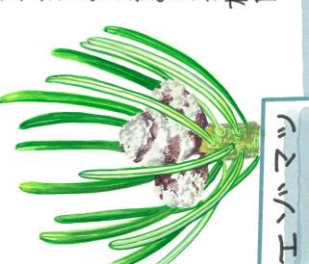


トドマツ



樹皮はつるつるした肌

ハマダマ



長枝



アオダマよりつるつるした肌

針葉樹の冬芽

この冬芽は針葉樹特有の冬芽で、葉の落ちる前に形成される。

冬芽の観察心得



頂芽 枝の先端につく芽

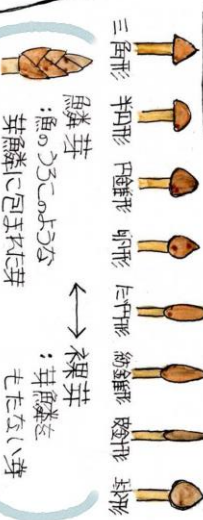
側芽 枝の横から出る芽

副芽 並生芽 重生芽

鱗芽 鱗芽

- ・花芽：開くと花になる芽
- ・葉芽：開くと葉になる芽
- ・混芽：花と葉が含まれる芽

冬芽の形状



鱗芽

鱗芽のうろこあひらき

鱗芽に包まれた芽

裸芽

鱗芽を剥ぎ取った芽

北海道森林管理局



冬芽観察 mini book

Ver.0.61

大きい冬芽

まずは憶え易いところから。葉が大きいものは、チリボウの冬芽で、かい！

芽は裸芽で、毛に包まれます。



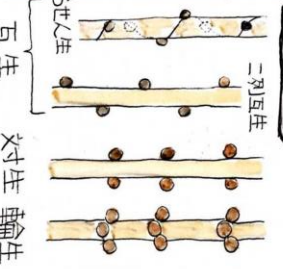
羊の顔に見えたり、うろこが怖い

頂芽と比べて小さい側芽。



（私的）には、アオダマの鱗芽

芽のつき方



葉痕、葉の落ちた痕、コ形と内部にある維管束痕（ツミツツ）が、特定の1つのポイント。

骨殖 枝の中心部

葉痕



互生 対生 輪生

ホオノキ



トチノキ



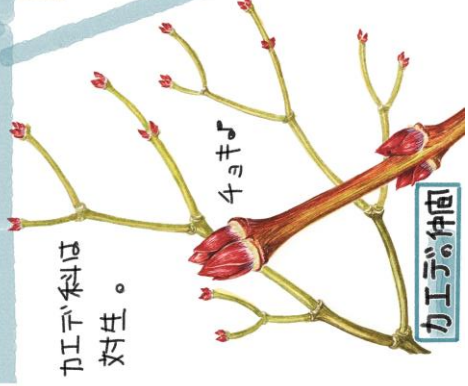
オニグルミ



樹皮は灰褐色で、
縦に不規則な割れ目。



イチヨウ



カエデの仲間

カエデ科は
対生。

カシワ



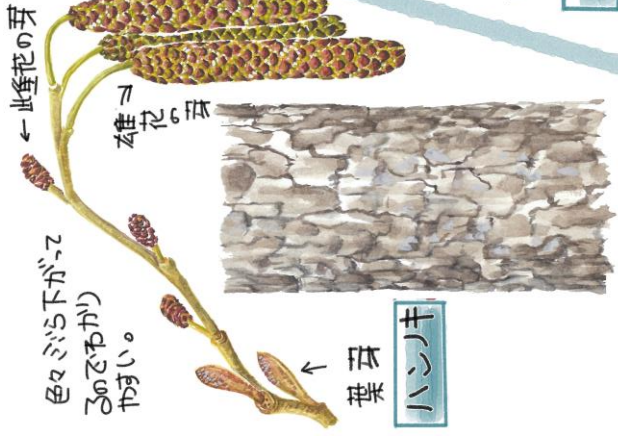
ミズナラ

冬は真上から
見ると5角形

枝先に集まってる冬芽

冬芽は真上から
見ると5角形

冬の間に
枯れ葉を
落とさない



ハンキ

色々から下がる
のてぶかり
やすい。

雄花

←此雄花の芽

葉芽

対生

カツラ



肉いた
ひづいめ
のよう。



花芽と葉芽がある

ハルニシ

皮目は灰褐色で、
縦に細かい割れ目。

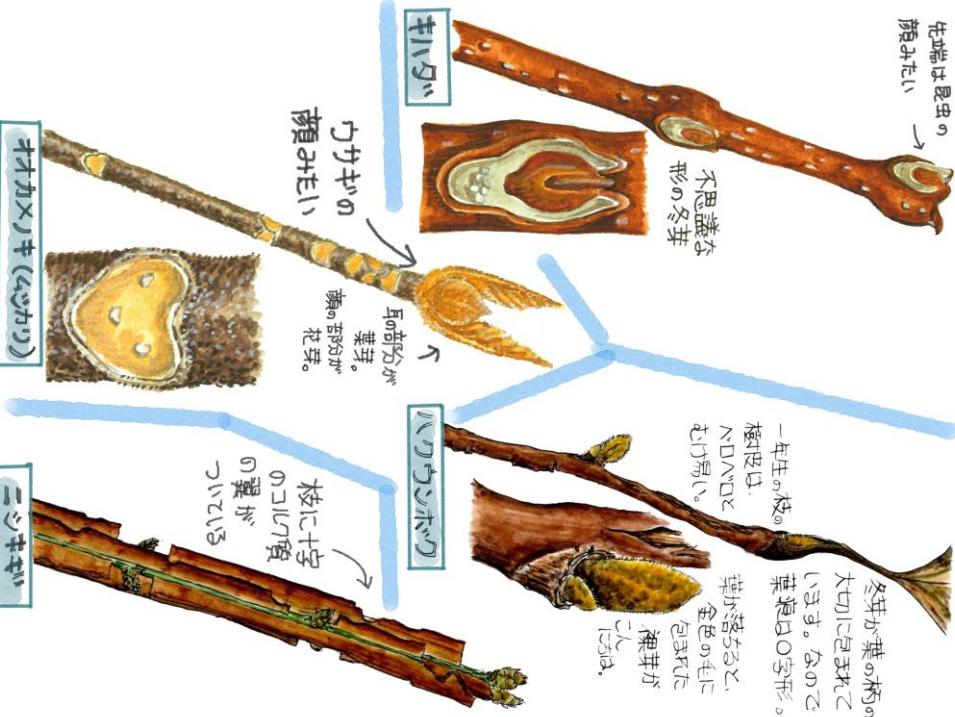


芽は
あちこち

花芽と葉芽がある

エンタマサツクラ

横に皮目が入る



と、これも変?

個性的な冬芽の中で、
特徴的なものをいくつか紹介〜。

先端は昆虫の
顔みたい

不思議な
形の冬芽

キハタ

ウサギの
顔みたい



オオカメノキ(ツツカリ)

ハコケシボク

冬芽が葉の柄の中に
大切に包まれて
います。なので
葉痕はO字形。
葉が落ちると、
金色の毛に
包まれた
葉芽が
こぼれ
落ちる。

枝に十字
のコレラが
ついてる

ニシキギ



チナカマド

淡褐色でた円形の皮目アリ
樹皮に
暗褐色で
縦に深い割れ目



シナキ

芽鱗は大小の枚